

さかえ公民館だより

NO. 236号

平成31年3月1日発行
(平成31年・第3号)

発行者 公民館長 亀山 祐悦

平成30年度 北秋田市立鷹巣東小学校

学校評議会

学校評議会は、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、開かれた学校づくりを推進するために、地域住民が学校運営に参画することが制度的に位置付けられました。

鷹巣東小学校評議員会は3回(6/19、10/6、2/6)開催、全学年の授業見学後に、子どもたちの状況や課題、地域との関わり方などについて協議を行いました。学校評価については「ゆたかで かしこく たくましく」の学校教育目標が、子どもたちの日常「あいさつ・おもしろい・チャレンジ」などに表れており、目標が達成されていることを確認しました。平成31年度からは「地域とともにある学校」のさらなる充実を図るため、「学校評議会」に変わり「学校運営協議会」を設置することになりました。学校運営協議会の「メンバー」については、東小学校長が委嘱します。



第1回学校評議会(6/19) 5年1組 書写「字形を整えて書こう」 ゲストティチャー 松尾昭先生(太田)

【平成30年度 鷹巣東小学校評議会メンバー】

【学校評議員】 加賀美津子(民生児童委員)、相馬和子(民生児童委員)、岩谷学(PTA会長)、
亀山祐悦(栄公民館長)

【学 校】 河田弘幸(校長)、藤嶋孝子(教頭)

平成 31 年文化財防火デー火災想定訓練

北秋田市消防団第一分団が出動

去る 1 月 26 日（土）、北秋田市教育委員会主催による「文化財火災想定訓練」が行われました。

「文化財防火デー」を迎え、地域の重要な建築物を火災その他の災害から護るため、消防関係機関と周辺地域住民との連携、協力体制を強化、地域ぐるみの防火、防災意識の高揚、冬期間の火災防御などを目的に、宮前町・鷹巣神社から火災発生したとの想定で訓練が実施されました。

訓練内容は、午前 9 時 00 分鷹巣神社から煙が出ているのを地域住民が発見、通報。田島宮司及び地域住民による初期消火訓練（水消火・バケツリレー）及び重要物品搬出訓練。消防署、消防団による火災防御及び中継訓練の構成で行われ、9 時 03 分訓練指揮本部より、鷹巣班、摩当班、太田班に火災出場指令出された。太田班は保健センター向の貯水槽（水利）に小型ポンプ設置、摩当班の消防車に中継。摩当班は消防署一号車に中継。一号車は鷹巣班の消防車に中継。鷹巣班が鷹巣神社本殿付近に放水、鎮圧し、9 時 14 分火災は鎮火した。機器材を撤収後、神社境内に於いて閉会式を行い、田島宮司は「災害は起こらなければ良い。しかし、万一のための訓練は大事である。」とあいさつされました。



あなたも健康長寿のために 健康体操を始めてみませんか

毎週火曜日 9:30~11:30 サテライトステーションさかえ (太田児童館)

呼吸法を重視し、『力を抜いて体重の反動を利用、全身の骨格、関節、筋肉を動かしながら、気血の流れを良くし、病気の予防と自然治癒力を強化する。』健康長寿を目的とした体操です。力を入れての筋力トレーニングなどではありません。まずは運動できる服装で「体験受講」に来てください。(バスタオルを持参のこと) ※会員は会費月額 1,000 円。
主催「いのちの健康体操の会」



◆問い合わせは「いのちの健康体操の会」太田地区担当、茂内鐵美まで TEL63-0877

浜辺の歌音楽館 30 周年記念事業

「浜辺の歌」「秋田県民歌」を作った成田為三の笑いと涙の物語

浜辺の歌音楽館30周年 北秋田市特別公演

わらひ座 ミュージカル 『為三さん!』
= ものがたり =

大正3年冬、北秋田市米内沢出身の成田為三さんは秋田駅のホームにいた。東京さ何あるべ?・・・期待を胸に、作曲家になる夢を叶えるべく上野の音楽学校へと向かうのだ。生活は貧しいけれども音楽への情熱は人一倍。勉強に恋に忙しい毎日だ。転機は、在学中に作曲した「浜辺の歌」の大ヒット。それをきっかけに、童謡誌『赤い鳥』の作曲家となり、音楽の道を極めるべくドイツ留学。帰国後は賢明な妻・文子と熱心な弟子・岡本を共に、故郷に錦を飾る凱旋公演。男として、作曲家として、順風満帆な人生を歩んでいた。そんな為三さんの元に思わぬ仕事が入り込んでくる。恐慌と戦争不況で疲弊する秋田のために「秋田県民歌」の作曲を依頼したいというものだった。なんとその作詞は、師範学校時代の友人・倉田政嗣。友人との曲作りは、故郷への想いと音楽への情熱をさらに燃え上がらせた。しかし、そんな為三さんの元にも戦争の足音は迫ってくるのだった。「ふるさとみたいな歌を作ろう」夢を見続けた為三の情熱が、人々の心に光をともし

成田為三 (1893 ~ 1945)



現北秋田市米内沢に生まれる。秋田師範卒業後、毛馬内小学校で一年間教鞭を執り、東京音楽学校(現東京藝術大学)に入学。在学中、『はまべ(浜辺の歌)』を作曲する。雑誌『赤い鳥』専属作曲家として子どもたちのために多くの作品を発表。ドイツ留学後の1930年、『秋田県民歌』を作曲(原詩は秋田師範の同級生である倉田政嗣)。1945年4月、空襲で焼け出されて東京から秋田に疎開。戦後、音楽家としての新たな夢を持って10月28日再び上京するが、翌29日脳溢血により倒れる。成田為三亡き後も『秋田県民歌』は歌い継がれ、三大県民歌の一つと呼ばれている。

1日2回公演

会場 ▶ 北秋田市文化会館

3月10日(日)

- ① 11:00~12:00 (開場10:30)
- ② 14:00~15:00 (開場13:30)

チケット

- ◆全席指定(1人6枚まで購入可)
- ◆前売:一般1,000円/高校生以下500円
(当日 一般1,500円/高校生以下1,000円)
- ◆販売開始:2019年1月10日(木)

問い合わせ先

北秋田市文化会館(ファルコン)

TEL 0186-62-3311

第14回 北秋田市美術展覧会

彩葉会会員：笹森美代子さん特賞

北秋田市芸術文化協会主催の美術展覧会が、2月15日（金）～17日（日）の3日間、北秋田市民ふれあいプラザ「コムコム」多目的ホールで開催されました。

栄公民館自主サークル講座「彩葉会（代表大川千賀子・会員5名、指導者松尾秀一）」会員の作品が展示され、洋画部門で笹森美代子さんの「中央公園」が特賞に選ばれました。

4月には彩葉会独自の作品展示会が、「コムコム」を会場に予定しております。



特賞 笹森美代子
「中央公園」



松尾淑子
「寺院の内側からの庭」



大川千賀子
「ベネチアの朝」



河田みほ子
「そよ風」

原田栄子
「自由に」



※ガラスの反射により、作品に影写りしている所があります。